

市長室：対話の記録

要旨

開催内容の公開

市長あいさつ

渡邊会長あいさつ・活動状況報告

意見交換

(1)支所地域まちづくり推進協議会について

(2)東鷹栖地域の活性化について

・鬼斗牛山の活用について

・パークゴルフ場の整備等について

て

・地域でのイベントの開催(水祭り(石狩川フェスティバル))について

(3)北の玄関口としての道の駅などの整備について

(4)東鷹栖支所の充実、移転について

(5)旧東鷹栖下水処理場の跡地の活用について

(6)東鷹栖中学校のグラウンドの改修について

(7)中山間地域等直接支払制度の基準緩和等について

(8)自衛隊通信隊跡地の活用について

市長終わりのあいさつ

第60回目となる今回は、各支所所管区域内の地域住民等が、地域の課題を共有し、その解決に向けた方策を検討し、地域特性を活かした個性あるまちづくりを推進するため、平成22年度に各支所に設置された「まちづくり推進協議会」のうち、「東鷹栖まちづくり推進協議会」(渡邊会長)の委員の皆さんと、これまでの活動状況や今後の課題、市への提言などについて対話、意見交換を行いました。



日時	平成23年11月29日(火) 午後6時00分～午後7時00分
場所	旭川市東鷹栖公民館 会議室 (旭川市東鷹栖4条3丁目)
相手団体	東鷹栖まちづくり推進協議会(渡邊恵会長)の委員 15人 (当日の出席者14人)
出席者	旭川市長 西川将人 「東鷹栖まちづくり推進協議会」(五十音順 敬称略) 荒井邦夫 遠藤純子 柏倉孝之 久木哲也 楠茂孝夫 高野達也 高森彰 中田勝博 二瓶章子 松本謹二 三浦千寿雄(副会長) 山口利喜江 吉田進 渡邊恵(会長)

対話の内容

市長あいさつ

皆さん、こんばんは。

今日は夜分にこのようにお集まりいただきありがとうございます。

東鷹栖まちづくり推進協議会の皆様と7時までの約1時間という限られた時間ですが、いろいろと意見交換をさせていただき、また地域の課題等についてもお話を聞かせていただきたいと思います。

市長に就任して約5年になりますが、これまでに市内各地域の皆さんや各団体の皆さんとの対話集会を続けてきているところです。また今年度は市内七つの支所に設置させていただいているまちづくり推進協議会の皆さんとの対話集会を行わせていただいているところです。

東鷹栖地域の皆様方には日頃から田んぼアートやフラワーロードなどの素晴らしい取組を行ってきていただいております。地域には男山自然公園やカタクリの里もありますし、また農産物の直売所や東鷹栖農村活性化センター「野土花」などを活用していただいている食品加工など、様々な部分での地域おこしに取り組んでいただいているところであります。また、まちづくり推進協議会の中での事業としては、「東鷹栖地域なるほどお宝マップ」を製作していただき、この地域の魅力の再発見や、また多くの市民の皆さんに改めて東鷹栖を知っていただくという取組なども行っていただいているところであります。



この東鷹栖支所は東鷹栖地域にありますが、末広地域もこの支所の管轄になっております。東鷹栖地域と末広地域が一体となつての地域づくり、地域の振興に取り組んでいただいているところであります。

また、末広東地域の下水処理場が使われなくなってから長年放置されていたのですが、私が市長になってからも地域の皆さんから取壊しについての強いご要望があり、昨年、解体工事を行い、現在は更地になっています。この跡地利用についての課題もあると認識しているところでございます。

本市におきましても、地域力の向上がまちづくりの大きな柱の一つであります。今回の東日本大震災や、また万が一事故や体の調子が悪くなった時などに地域で見守り支え合うという絆をしっかりとこの旭川において受け継いでいくこと、またつくり上げ、更に発展させていくということがとても重要な課題だと認識しているところです。

協議会の皆様方にはこれまでもたいへんお世話になっておりますが、引き続きそれぞれの立場でお力添えをいただきたいと思います。そしてまた支所を核とした地域づくりにつきましても更なるお力添えをいただければと思っておりますので、よろしくお願いを申し上げまして、簡単ですが冒頭に当たつてのあいさつに代えさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

渡邊会長あいさつ及び活動状況報告

市長におかれましては、たいへんお忙しい中、遅い時間に私たち東鷹栖まちづくり協議会との対話集会の機会を設けていただき、心から感謝とお礼を

申し上げます。

私たちの協議会は、昨年度は東鷹栖、末広、末広東、春光台の四つの地域から12人の委員が選ばれ、地域の特性や課題などについて協議を重ねてきたところです。

ご存知のように、東鷹栖支所地域は旭川の北の端に位置し、非常に面積も広く、各地域の特性も様々で、共通の課題を見つけるのに苦労しました。そこで昨年度は、まず支所のある東鷹栖地域の課題を見つけて、その課題の解決策などについていろいろと協議をして、その結果、「東鷹栖地区なるほどお宝マップ」の作製をすることとなりました。東鷹栖地域には鬼斗牛山という通称三角山があり、全国的に有名になった田んぼアートや、春から秋にかけてのフラワーロードなど、本当に素晴らしいものがありますので、それらをしっかりと再認識して、また宣伝をして地域の活性を図っていこうと、お宝マップを作製することになったのです。お宝マップは1,000部作成し、地域の皆さんに配布し広報したところです。その効果の検証はこれからですが、今後もこのお宝マップを追加作製したり、更に内容を充実させるなど、この事業を拡充していきたいと考えています。



今年度の協議会は15人の委員で協議を行い、引き続き東鷹栖地域を広報するため、お宝マップをベースとして事業を進めていくこととなりました。具体的には支所にお宝マップに避難所の記載をした案内板を設置しようということになっています。また合わせてお宝マップの内容も修正して、追加作製し配布することで、地域の活性化を図っていくという方向で協議を進めているところです。

委員の皆さんはそれぞれ仕事を持っていますし、また夜の時間帯にもかかわらず、皆さんはよく集まってきていただいて、一生懸命に取り組んでいただいておりますので、良い結果が出るように頑張っていきたいと思っています。

～意見交換～

参加者から寄せられた意見と、市長のコメントについてまとめたものを掲載します。
(以下、参加者の皆様については、敬称を省略させていただきます)

市長

今日は、それぞれの委員の皆さんから、これまで取り組まれてきた中での課題や今後の活動についてなど、いろいろなお話をぜひ聞かせていただきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。今年初めて委員になった方もいらっしゃるし、昨年から継続して委員をされている方もおります。それぞれの立場でまたいろいろと感じ方も違うと思いますが、いかがでしょうか。

渡邊会長

今、市長から言われましたように、昨年から引き続き委員をされている方、また今年初めて委員となった方、それぞれの立場から、これまで取り組んでき

た中で、どのような課題があり、それをどうやって乗り越えてきたか、またなかなかうまくいかずに苦労した話など、いろいろな意見などを発言していただければいいと思います。

(1)支所地域まちづくり推進協議会について

吉田

この協議会では、東鷹栖地域は非常に元気がないという意見が多くありました。そこで元気の出るようなまちづくりを考えようということになりましたが、この協議会の補助金では大きなことはできませんので、地域の見どころをまとめて掲載した「東鷹栖地区なるほどお宝マップ」を作製し配布する取組を行うこととなりました。

市長

まちづくり推進事業の補助金については、この協議会の活動をどんどん活発化させていく中で増やしていきたいと思っています。この協議会から出てきたいろいろなアイデアを事業化していく上で、市の事業の中で活用できるものは活用していただいたり、あるいは必要なものであれば、別の事業として市の予算を使っていくということも今後はあり得るのかもしれませんが、今の額では大したことはできないと思わずに、ぜひその辺は大きく考えていただければ、議論ももっともって活発化していくのではないかなという期待も持っていますので、今後の中ではぜひそのような視点からもよろしくお願ひしたいと思っています。

久木

この協議会の補助金は非常に少ないと思います。今後はその額を超えても事業の目的等によっては追加や増額を認めてもらえる仕組みをつくっていただきたいと思っています。

もう一つですが、市長はこの協議会を今後もずっと続けていきたいと考えているのでしょうか。

市長

今後は支所のない地域にもこのような協議会をつくっていききたいと思っており、今、その地域の方々とお話をしているところです。また昨年から続いている支所地域まちづくり推進協議会も今後ももっともって充実していきたいと思っています。この取組が充実していくことに伴って、地域の皆さんからどうしても必要だという声や、良いアイデアが出てくることで、私たちもそれをしっかりと受け止めて、予算を付けやすくなると思います。今の時点では、様子を見ながらということもありますが、皆さんの取組内容についてはきちんと受け止めさせていただいております。

(2)東鷹栖地域の活性化について

- ・鬼斗牛山の活用について
- ・パークゴルフ場の整備等について

・地域でのイベントの開催(水祭り(石狩川フェスティバル))について

吉田

多くの方が東鷹栖地域は元気がないと感じていると思います。この地域をハード面の整備をして活性化を図るには、億単位のお金が必要となります。市の様々な計画では東鷹栖地域は旭川の北の玄関口という立派な位置付けがされていますが、では市では何をやってくれるのかというと具体的なものはありません。東鷹栖地域の活性化を考えると、やはり山をどのように利活用するかということが大事だと思います。突哨山だけでなく、通称三角山と呼ばれる鬼斗牛山の開発に力を入れなければ、地域の元気は出てこないだろうと考えています。

また、人が集まることも大事な要素だと思います。イベントを開催することで人は集まりますが、イベントをしていない時には人は集まりませんので、イベントだけではなく、地域の住民の元気、健康のためにパークゴルフ場の整備を考えるといいと思います。東鷹栖には大きなパークゴルフ場はありません。またパークゴルフだけではなく、ヨーロッパのように週末に泊まってゴルフをすることができる場所や公園など、いろいろなものを集めると鬼斗牛山も活気が出てくるのではないかと思います。いずれにしても、旭川の北の玄関口らしく東鷹栖地域を整備するという大きな構想を持っていただきたいと思います。

市長

鬼斗牛山の活用についてのお話がありましたが、地域の皆さんには以前、鬼斗牛山での「北あかり」という取組をしていただいております。また最近あまり見かけませんが、昔はスキーを持って歩いて上って滑ってくる人がたくさんいました。その山の活用ということも大事なことなのかなとは思っています。

また、旭川刑務所がありますが、来年から建替え工事を行う予定と聞いています。とても大きな工事になると思います。刑務所で地域を活性化することは難しいかもしれませんが、網走では博物館がありますし、何か刑務所を絡めたそのようなアイデアがないかなとも思っています。

こちらの地域ではグリーンツーリズムに盛んに取り組んでいただいております。札幌の小学校には毎年来ていただき、私も毎回顔を出させてもらっていますが、さらに農家民泊をしていただけたところも増やしていただいて、修学旅行もこの地域で受け入れることができるようになればいいなと期待もしています。

三浦

東鷹栖の鬼斗牛山を何とか一大名所にしたいと、協議会の中で話し合いを進めてきましたが、整備するには多額の費用がかかりますので、結果的にはお宝マップの作製ということになりました。しかし、それと並行して、鬼斗牛山に上がるための道路を整備することについて、鬼斗牛山の地権者である農協の組合長にお話したところ、ぜひ協力したいとのお返事をいただき、森林組合の方とも協議していただき、昨年は9線道路から鬼斗牛山に上がる道路の整備を行っていただき、また今年は7線道路から上がる道に砂利を敷いたり、

側溝を付けていただいたりしていただきました。さらに山の頂上は木がかなり生い茂っていましたが、森林組合で間伐していただき、とても見晴らしが良くなり、今では当麻、永山、春光台など見渡すことができるようになりました。

今後も鬼斗牛山の整備を進めて、田んぼアートと一緒に見てもらうことができたらいいと考えていますが、整備するためにはお金がかかります。農協へ案内看板の設置をお願いするなど、農協や森林組合に協力していただいております。もし今後、この協議会の話合いの中で、鬼斗牛山の整備について具体的に決まりましたら、市で予算を付けていただくことも考えていただきたいと思います。

市長

この協議会で議論していただいたことが、例えば市の土木部の事業に関係していく場合もあると思います。鬼斗牛山については市が所有している山ではありませんので、市としてはなかなか手を出しづらい場合もあるかもしれませんが、地権者である農協とも今後その山をどうしていくかという部分は一緒に考えていかなければいけないのかなと思います。お話を聞かせてもらっていました。

中田

東鷹栖には、永山の屯田まつりや神楽の花火大会などのような大きなお祭りはありません。農業が多いという地域性もあるのかもしれませんが、この地域にも市民が大勢で参加して盛り上がるようなイベントが一つであれば、この地域の活性化につながるのかなと思います。

市長

そうですね。石狩川で開催されている水祭はどこが主催していましたか。このお祭りをもっと東鷹栖に密着したお祭りに発展させることはできないでしょうか。

楠茂

水祭はあさひかわ商工会の青年部が実行委員会をつくって開催しています。おかげさまで水祭りは今年で21回になりましたが、これからも青年部が独自でやっていくとなると、補助金や協賛金の面でも難しいところありますので、市民や市民委員会などと協力して進めていくということも必要になるのかなと思います。

高野

旭山のライトアップや永山の屯田まつり、東鷹栖は水祭り、そして神楽は花火というように、もともと4つあった商工会がそれぞれ行っていました。神楽では会員が少なくなり、運営が厳しくなって、市民委員会が入り、花火大会が続いているという状況です。水祭り方は若い人たちが積極的に今後も続けていこうと頑張って毎年続いています。

市長

永山も神楽も市民委員会が実行委員会に入っていますから、様々な面で機動力もあると思います。

もしこの水祭りが今後地域のお祭りとなったらどうなのだろうと思ったので、話をしてみました。基本的には地域の皆さんにお任せしていかなければいけないのですが、私もぜひこの水祭りがもっともっと大きく発展していつてもらえたらと思っていますので、応援をさせていただきたいと思います。

(3)北の玄関口としての道の駅などの整備について

遠藤

この地域の国道沿いの目立つところに、または鷹栖インターや北インターに近い所に、北の玄関口として、剣淵の道の駅のように地場産品を売る道の駅があるといいと思います。動物園へ行く人はほとんど北インターで下りるので、例えば下りて動物園に行く前に昼食をとることができ、大型バスも停まることができる場所もあるといいと思います。新たに建物をつくることは難しいので、例えば今は営業していない店の建物などを活用してはどうかと思います。

(4)東鷹栖支所の充実、移転について

松本

私は春光台に住んでいますので、初めはあまり東鷹栖地域のことはよく知りませんでした。そこで、末広や春光、春光台地域の人たちに東鷹栖地域を知ってもらうためには、東鷹栖支所をもっと充実させて、その地域の人たちが支所を大いに利用するようにしたらいいと思いました。市役所の本庁舎は駐車場が少ないのでとても不便なのですが、この東鷹栖支所は駐車場も広く、春光台から10分とかからないで来ることができますので、例えばフラワーロードを辿って行くと支所に着くというように何か目印をつくったり、今後この支所が移転されるということですから、施設のにも充実させて、それをPRして、多くの地域住民にこの支所を利用してもらうといいと思っています。また、支所の職員の皆さんはとても一生懸命に仕事をしていただいています。一度に人が押し掛けると、職員が少なくて対応できないということもあります。ですからここが非常に広い地域の支所だということも考えていただき、私たちももっと利用しやすいようにしていただきたいと思っています。

市長

この東鷹栖支所を斜め向かいの建物に移転する予定があります。支所の移転後はこの空いたスペースを活用して、図書室を広くしたりなどする予定です。

また、公民館機能を充実するなど、皆さんといろいろと話をしながら進めていきたいと思っていますので、ぜひたくさんの方に利用していただきたいと思います。

二瓶

私も鬼斗牛山が整備されることで、将来は子どもたちがそこへ遠足に行ったりするようになるととても嬉しいと思います。

私は民生児童委員なのですが、末広にある地域包括支援センターが、こちらの方へ移転されると聞き楽しみにしています。今の末広にある建物は非常に狭く、駐車場も3台しか停められませんが、それも解消されるそうです。バスの便が少し不便になりますが、電話をすると包括支援センターの方が来てくださるとのことなので安心してしています。

市長

今、この東鷹栖支所と公民館が入っている建物の斜め向かいの建物に支所が移転する予定になっており、同じく今末広にある地域包括支援センターもそこへ移転する予定となっています。今よりはだいぶ広くなります。確かに交通の便は少し不便になりますが、必要な場合には包括支援センターの方から自宅など伺ったりもしますと地域の皆さんともお話してきていますので、あまりご不便をかけないで移行できると思っています。

二瓶

今の末広の所では、3、4人で相談する場所もありませんでしたが、今度はそういうことがないみたいですね。

東鷹栖支所長

私も今の末広の所は行ったことがありませんが、移転先の建物ではその倍ぐらいになると聞いています。

駐車場もかなり広がりますので、包括支援センターの所長も喜んでいました。

市民協働室長

計画では約 130 m²のスペースが使える予定になっていますので、今の倍くらいの広さになります。

市長

地域包括支援センターが支所や公民館と同じ場所に移転されることで、特に地域の安心、安全の向上という部分での連携を今まで以上に密にさせていただけるようになると思っています。また、今日は消防団の方にも委員として出席していただいておりますが、安全、安心という部分で、消防団の皆さんや地域包括センター、民生児童委員の皆さんといろいろな部分で連携を更に密にさせていただきたいと思っています。そして、このまちづくり推進協議会において、その役目を担ってもらいたいという期待を持っています。あまり無理なことは言えませんが、ぜひ皆様方のお力をいただきたいと思います。

(5)旧東鷹栖下水処理場の跡地の活用について

久木

以前から要望している、末広東地区の下水処理場の跡地利用については、

公民館機能のほかに支所機能を持った施設をつくっていただきたいと思っています。末広地域は人口が多く広いので、支所機能の全てではなくともよいのですが、遠くに足を運ばなくても簡単な用事は済ますことができる機能を持たせたものがあると便利だと思います。

市長

旧東鷹栖下水処理場の跡地に、体育館や公民館的な機能を持った施設を建設してほしいというご要望が地域からこれまでにたくさん寄せられています。市民委員会が中心になって議論していただき、いろいろと意見もいただいているところです。公民館的な機能や体育館的な機能、また支所的な機能など、いろいろとありますが、それらについて今後話し合いの中で詰めていきながら、どういうものかということを考えていきたいと思っています。ぜひ地域からもいろいろと声を上げて上げていただければと思っています。

(6)東鷹栖中学校のグラウンドの改修について

山口

東鷹栖中学校のグラウンドは昔から非常に水はけが悪く、雨が降ると何日もグラウンドが使えない状態になります。暗渠整備をしなければ改善しないようですが、なかなか予算がつかないと聞いています。

高野

昨年、ボランティアでグラウンドの一部に土を入れさせてもらいました。でもやはり水が溜まるので1年も経つと草がたくさん生えてきています。

市長

水はけを向上させるために、暗渠等の整備による抜本的な改善が必要な状況になっているのだと思います。市内には他にもそのようなグラウンドや老朽化した設備などがたくさんありますので、できることから順次改修などの対応をしていますが、なかなかすぐにはお応えできない状況になっていると思います。

(7)中山間地域等直接支払制度の基準緩和等について

柏倉

先日、市内の土地改良区が五つ集まって、市長へ要望に伺いました。その要望の中で、東鷹栖に特に関係するものとして、中山間地域等直接支払制度により、これまでも助成していただけていますが、その対象となる水田の傾斜が現状では1/20以上となっており、それを1/100以上に基準を緩和していただきたいと思っています。

また、農地・水保全管理支払制度については、これまで同様、今後もこの制度を活用させていただきたいと思っております。

この2つの制度を活用させていただき、田んぼアートやフラワーロードなどの活動を行っており、非常に好評ですし、これらは非常に地域のまちづくりに

貢献してと思っていますので、今後もこの制度を継続していただきたいと思ひます。

(8)自衛隊通信隊跡地の活用について

柏倉

北インターのすぐ近くに自衛隊通信跡地があります。約5haの国有地なのですが、その土地を地域の活性化のために活用していただきたいと思ひています。北インターに近いので、人を集めることができると思ひますし、地場産品を売る道の駅を建てたり、またグラウンドにも活用できると思ひます。

市長

そこは北海道財務局で管理している国の土地ですね。

私もその草を何とかしてほしいという声はよくお聞きします。何とかしなければならぬと思ひますが、この土地を国から譲り受けることはそう簡単にはいかぬと思ひます。地域として、ここの土地を譲ってほしいと声を挙げられたことはありますか。

三浦

市民委員会では、これまで何とか国からの払い下げをお願いしているところですが、なかなか対応していただけません。無償で貸してほしいともお願いしましたが、それもだめでした。そのうちに草が生えて、虫が出てくるという状態になってしまいました。

市長

虫が畑や田んぼに悪い影響を与えるんですね。

これも少し最近の状況も含めて調べてみたいと思ひます。

市長終わりのあいさつ

地域が広いので、まだまだたくさん話題もあると思ひますが、限られた時間の中、直接皆さんからいろいろな話を聞かせていただき、改めてこの地域のことを身近に感じ、また考えさせていただくことができました。中長期的に検討が必要な課題もありますが、今後もぜひ皆さま方のお力を借りて地域を盛り上げていくことができますように、私をはじめ市の職員も頑張っていくと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。今日はどうもありがとうございました。